



# 校長室だより

第 6 号

令和3年5月12日(水)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

## 交通事故に遭わないよう気を付けよう

昨日、校内テレビ放送による朝会がありました。次のような内容で子供たちに話をしました。

長さ40cmほど、直径1.5cmほどの金属の棒を見せました。この棒は何をするものだろうと問い掛けました。この金属の棒は私の大腿

骨に入っていたものなんです。大腿骨を完全骨折するという、とても大きなけがをしました。(骨折した場合、二つの間接をギプスで固定するというのが一般的です。大腿骨を骨折した場合は、ギプスの使用ができないため、骨の中に金属の棒を打ち込んで固定するという手術を行いました。上の写真で左側に穴が見えますが、足の付け根の方にボルトを入れて固定していました。実はこれは1本目で、金具が浮いてきたので、それを抜き、2本目を挿入したのです。)(※かっこの中は子供たちに話をしていません。以下同じ。)



このような大けがをした理由は、次の3つのうちどれでしょう?①高いところから落ちた。②あるものにはさまれた。③スキーで変な転び方をした。正解は②の「あるものにはさまれた」です。あるものとは、車とバイクです。つまり、バイクに乗っていて交通事故に遭ったということです。事故の時、ものすごく痛かった。痛くて痛くて、涙は止まらないし、あまりにも痛すぎて気絶しそうになりました。ぬまっこにはこんな痛い思いをしてほしくない。家族や友達にとても心配させてしまいました。このけがのために、7ヶ月も入院したんですよ。だから、みんなには、交通事故に遭わないよう十分気を付けてほしいのです。

もう、35年も前の話になりますが、校長先生はバス通りをバイクで走っていたところ、わき道から一時停止しない車が出てきました。そしてその車と衝突してしまいました。車のボンネットとバイクに左足がはさまれ、骨折してしまいました。(人間の骨で一番太い大腿骨が完全に折れてしまったのですから、かなりの衝撃だったと思います。)

新しい学年になって、1か月がたちました。学校にも慣れてきて緊張も少し緩んできたこの時期、5月、6月には小学生の交通事故がとても多いのだそうです。特に低学年の子供の事故が多いといわれています。その理由として一番多いのが、飛び出しによる事故だそうです。先日、交通安全教室を実施しましたが、その時、低学年の皆さんが練習したように、右、左、右をしっかりと見て、車が来ない、あるいは車が完全に止まってくれていることを確認してから、道路を横断してください。**飛び出しは絶対にダメです。**約束してください。飛び出しをしてはいけません。

私の話の後、宮本先生から、先日白石第一小学校で起こった事故について話してもらい、遊具の安全な使い方等について確認しました。放送室にいても、子供たちが真剣に話を聞いてくれたことが伝わってきました。大人も子供も事故に遭わないよう、事故を起こさないよう気を付けて過ごしたいものですね。